

16. 膀胱がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日					各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ											
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術			放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容									
				開腹手術	経尿道的手術				化学療法	膀胱内 注入療法	治療内容	治療実績	医師の 専門分野					
1 泌尿器科	4	4	状況 実績	○ あり	○ あり	○ あり	○ あり	○ なし	× なし	我々は1986年から合わせて391例、内視鏡手術は毎年100例前後の経験があります。これらの検討からなるべく膀胱を温存できるような治療法を選んで行きますが、これらの治療を完全に行ってもやはり膀胱全摘が必要な場合があります。膀胱を取るとその代わりになるものを作らなければいけません。放射線治療は、眼に見えない放射線という物質を巧みに操ることで腫瘍性疾患を消滅・縮小させるものです。うまく使えば手術や化学療法以上に素晴らしい力を発揮します。もちろん欠点もありますから、他の治療との連携が非常に重要です。そして、患者さんの意識がある状態で行うことが多いので、患者さん	ア イ	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/uro/index.html http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり			
2 放射線治療科	2	2	状況 実績	× なし	× なし	× なし	× なし	○ あり	○ なし	我々は1986年から合わせて391例、内視鏡手術は毎年100例前後の経験があります。これらの検討からなるべく膀胱を温存できるような治療法を選んで行きますが、これらの治療を完全に行ってもやはり膀胱全摘が必要な場合があります。膀胱を取るとその代わりになるものを作らなければいけません。放射線治療は、眼に見えない放射線という物質を巧みに操ることで腫瘍性疾患を消滅・縮小させるものです。うまく使えば手術や化学療法以上に素晴らしい力を発揮します。もちろん欠点もありますから、他の治療との連携が非常に重要です。そして、患者さんの意識がある状態で行うことが多いので、患者さん	ア イ	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/radiolog/ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり			
3			状況 実績															
4			状況 実績															
5			状況 実績															

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 膀胱がん 膀胱がん
------------------------------------	-----------------